

## 労働災害防止に向けた署長からのメッセージ



高岡労働基準監督署

署長 芦田 圭

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年元旦に発生した能登半島地震により被災された全ての方々にお見舞いを申し上げますとともに、新たな年を無事に迎えられたことに安堵と感謝の思いを感じております。

事業者並びに関係団体の皆様方には、富山労働局・高岡労働基準監督署の推進する「安全で健康に働くことができる環境づくり」につきまして、平素よりご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年の高岡署管内の労働災害による休業4日以上の死傷者数は、昨年11月末日時点で349名となっており、一昨年の年間死傷者数を超える見込みとなっています。

特に、製造業と建設業において、死傷者数は大幅に増加しており、死亡者数も4名となりました。

富山労働局では、5年間の計画期間として、労働災害減少を目標とする「第14次労働災害防止計画」を策定しておりますが、2年目から3年目に襻を繋ぐ本年はその目標達成に向けた重要な年になります。

高岡労働基準監督署では

**「令和7年超えるな労災300の壁！」**

を今年のスローガンに、事業者並びに関係団体の皆様との連携による相乗効果で、労働災害死傷者数300名を超えないことを願い掛けまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ゼロ災で行こう！ヨシ！！